

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年3月26日	記入者		連絡先	780 - 1403
平成18年度部名	企画部	課名	地域振興課	課長名	天野眞一
平成19年度部名	市民協働推進部	課名	津久井地域自治区事務所	課長名	天野眞一
事務事業名	地域振興協議会運営事業				
予算上の事務事業名	地域振興協議会経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				
施策名	第2施策 コミュニティ活動の支援				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
地域の特性を活かしたコミュニティづくりを推進するため、市民主体の活動組織である、まちづくり委員会へ助成を行う。	まちづくり委員会				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	津久井湖周辺地域まちづくり委員会補助金(80,000円) 串川地域(80,000円) 青野原地域(80,000円) 青根の里(80,000円) 各地区(900,000円) 青根地区コミュニティ委員会運営助成金(400,000円) 青野原地域振興協議会助成金(2,500,000円) 青根地域(2,100,000円) 鳥屋地域(3,500,000円) 串川地域(3,000,000円) 中野地域(220,000円)				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	12,940	14,940	14,940
一般財源	0	0	1,620	1,220	1,220
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	11,320	13,720	13,720
人件費の合計	0	0	1,290	1,490	1,490
事業コスト合計	0	0	14,230	16,430	16,430
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	地域振興協議会経費			対象名称 と単位	補助金(円)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	12,940	14,940	14,940
対象数	0	0	10	10	10
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	1,294,000	1,494,000	1,494,000
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.15	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	助成対象地区数	指標式と指標の説明		助成対象地区(実績) / 助成対象地区(目標)	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	10.0		
目標	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	助成金額(単位千円)	指標式と指標の説明		助成額 / 予算額 × 100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	12940.0		
目標	0.0	0.0	12940.0	14940.0	14940.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本事業については、地域のコミュニティづくりを推進するためには必要な事業であり、また、財産区からの繰り入れ事業についても、各地域の地域振興や、財産区住民の福祉の増進を図る上では重要な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
			本事業については、旧津久井町の事業を引き継いだものであることから、実施3年を目途に見直しを行っていく方針である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			